

ラテン・アメリカ政経学会 2024 年度会員総会議事要録

日時：2024 年 11 月 9 日 16：00～17：00

場所：龍谷大学大宮キャンパス東翼 302 講義室

出席者：会場内 27 人、オンライン 11 人、委任状 36 人、計 74 人

審議に先立ち、出席者数が定足数を満たしていることを確認した。三浦航太会員を議長に、内山直子会員を書記に選出した。

審議事項

1. 2023 年度活動報告について浜口理事長から資料 1 に基づいて説明があり、審議の結果、原案通り承認された。
2. 2023 年度会計について資料 2 に基づいて村上善道理事から報告があり、北野浩一監事が、監査の結果問題がなかったことを報告した。審議の結果、原案通り会計報告および監査報告が承認された。
3. 2025 年度事業計画について浜口理事長から資料 3 に基づいて説明があった。2025 年度は次期理事選挙を実施すること、第 62 回全国大会を青山学院大学相模原キャンパスで開催すること、研究奨励賞の選考委員会を設置して優秀研究賞と若手研究奨励賞の選考を行うことなどが提案された。審議の結果、原案通り承認された。
4. 『ラテン・アメリカ論集』のオンラインジャーナル化への完全移行に伴う紙媒体印刷廃止について、幡谷理事から資料 4 に基づいて説明があった。審議の結果、原案通り承認された。
5. 2025 年度予算案について浜口理事長から資料 5 に基づいて説明があった。支出面では、理事選挙実施費 10 万円と、印刷費・編集費（紙媒体印刷を廃止し、J-Stage 公開用の紙面デザインを委託する費用）として 40 万円を計上している。審議の結果、原案通り承認された。
6. 学会規約等の改正について浜口理事長から資料 6 に基づいて説明があった。「学生会員に対する旅費支援規則」（旧規則）の全国大会で報告する学生会員の旅費支援に宿泊費を含めて拡充するとともに、報告する会員の託児費用を子ども 1 人あたり 1 万円を上限とする支援を追加するため、旧規則を廃止して「全国大会等参加支援制度規則」を新たに制定することが提案された。審議の結果、原案通り承認された。
7. 2025 年度理事選挙管理委員会の選出について浜口理事長から、舛方周一郎理事、宮地隆廣会員、藤井嘉祥会員が推薦され、審議の結果承認された。

報告事項

1. 『ラテン・アメリカ論集』第58号の編集について幡谷理事から資料7に基づいて報告された。
2. 会員の入退会について浜口理事長から、新規入会が5名、退会者が3名があり、総会員数は昨年度より2人増加して149名となったこと、うち正会員は120名、学生会員が12名、シニア会員が17名であることが報告された。
3. 2025年度全国大会については、浜口理事長より青山学院大学相模原キャンパスで開催予定であると報告された。
4. 事務局担当の坂口理事より、2025年4月移行にオンラインで名簿アップデートを実施すること、2024年3月時点で会費滞納がある場合理事選挙の投票権を失うため気を付けてほしいこと、2025年度会費は2025年4月以降に請求することが、報告された。

上記の経過およびその結果を明確にするため、この議事録を作成する。

書記 内山直子（押印省略）

事務局担当理事 坂口安紀（押印省略）